

上野原縄文の森は、おかげさまで2010年5月に入園者が100万人を突破いたしました。これを記念いたしまして、上野原遺跡発掘当時の様子をシリーズでふり返ります。

上野原遺跡 再探訪

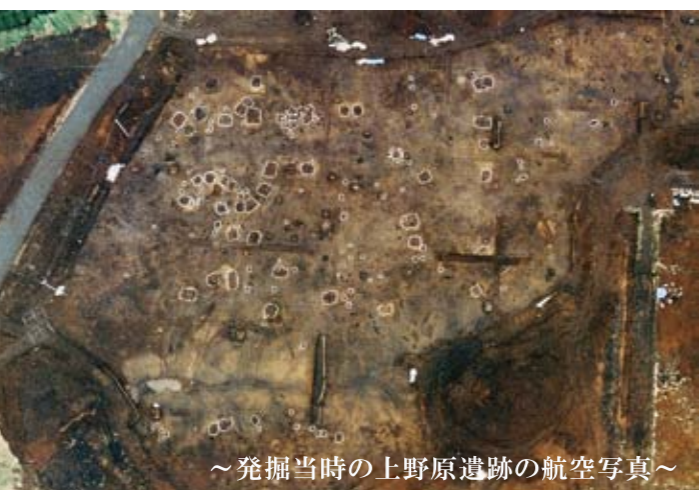
発掘当時の上野原遺跡をふり返って

～発掘調査に携わった生き字引として～

事業課 立神次郎

上野原遺跡での調査が進み、縄文時代早期後葉の生活跡や縄文時代早期前葉の定住化初期の集落跡の発見が続々とマスコミ等で報道されるところとなった。当時私は関係者のひとりとして、上野原遺跡の全体を上空から撮影した写真に写っていた集落内を縦断する2筋の細長い黒いシミがどうしても気になっていた。明らかに周辺の土の色と異なっている。まるで集落を貫く道のように見えたのだった。「これは道の跡ではないか」ということを提起し、その後の検討の結果、これまで前原遺跡（鹿児島市）などといった上野原遺跡と同じような時期の集落跡からも同様な事例があることが分かり、この黒いシミも縄文時代早期前葉の道跡として認定された。まさにこの黒いシミが遺構のひとつとして集落跡を補完し、強固なものとしたのであった。

鹿児島県下で30数年近く発掘調査に関わってきた者として、こうしたちょっとした土の違いが時として大きな発見に繋がることを何度も経験した。今から28年ほど前に調査を担当した鹿屋市の王子遺跡での経験はその後の発掘調査に大いに生かされることとなった。この遺跡では弥生時代の集落跡ということもあり、上野原遺跡のように堅穴住居跡の土の色と周りの土との明瞭な違いがなく、全面に広がる黒い土の層のちょっとした違いを見つけて堅穴住居跡や掘立柱建物跡（特に、柱穴）などの土の調査をしなければならなかった。当時、「闇夜の鳥という異名までいただくような作業」と揶揄されることもあった。そうした積み重ねの結果がさまざまな発見へと繋がり、王子遺跡は南九州で



～発掘当時の上野原遺跡の航空写真～

1～3月のイベント情報

第29回企画展「古代アクセサリーの魅力」

3月21日(月)まで ☆好評開催中☆



1月

◆8日(土) 10:00～15:00

1日縄文人体験
「天まで揚がる凧作りと凧揚げ大会」

場所：体験学習館及び園内



終了しました



◆29日(土) 13:30～15:00

第29回企画展講演会

場所：展示館多目的ルーム

講師：熊本大学 文学部

木下 尚子教授

聴講料：無料

2月

◆5日(土) 13:30～15:00

考古学講座「縄文から弥生へ」

場所：展示館多目的ルーム 資料代：一人100円

◆12日(土)

企画展ワークショップ
「縄文の森風 万華鏡作り＊」

場所：展示館和紙ドーム前
① 10:30～ ② 15:30～
各回20名まで、参加費無料（有料入館者対象）



キャンセル待ち

◆19日(土) 10:00～15:00

1日縄文人体験
「手作りハムとドングリクッキー作り」

場所：体験学習館

◆26日(土) 13:30～15:00

かごしま県民大学連携講座「鹿児島島の遺跡に学ぶ」
第3回「9500年前のムラに生きた人びと」

場所：かごしま県民交流センター 講師：南九州考古学研究所長 新東 晃一 氏

●2月25日(金)～3月6日(日)まで

ミニ企画展
第3回「縄文の森20景」 場所：展示館ロビー



3月

◆26日(土) 10:00～14:00

どんぐりイベント
「ふれあい体験
(アウトドア料理に挑戦)」

場所：体験学習館等 参加費：300円

※本イベントは、ボランティアグループ「どんぐり倶楽部」の主催です。



◆13日(日) 9:20～

第20回 霧島市
上野原縄文の森駅伝大会

ゲストランナー
猫ひろし氏(予定)

駅伝大会お問い合わせ:0995-42-1111

上野原縄文の森駅伝大会実行委員会

(霧島市教育委員会 保健体育課内)

※参加申込は、1月31日まで



【開園時間】 午前9時～午後5時

(展示館入館は午後4時30分まで)

【休園日】 毎週月曜日(休日に当たるときは、その翌日)

(4/29～5/5及び8/13～15は無休)

12/30～1/1(年末年始)

【利用料金】 (団体は20名以上) ※展示館内の展示室・シアターのみ有料

◇個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 300円

◇団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 240円

(県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として利用するとき等は減免措置有り)

縄文の森へのご案内



【編集・発行】財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森

〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号 電話(0995)48-5701 FAX(0995)48-5704

URL <http://www.jomon-no-mori.jp> E-mail:uenohara@jomon-no-mori.jp

上野原縄文の森 だより



UENOHARA
JOMON NO MORI



2011.1
Vol.19



年末年始、上野原縄文の森もすっかり雪化粧しました

2ページ 第29回企画展紹介

3ページ 縄文の森冬の植物 ほか

4ページ 4～12月までのイベント紹介

5ページ 上野原遺跡 再探訪

6ページ 1～3月までのイベント情報



縄文の森からの初日の出

レストラン フォレスタ

展示館2階「レストランフォレスタ」では、霧島の食材を中心に和食・洋食・中華と、様々なお料理をそろえております。



きみは食べられるか？

縄文バーガー大人気！！

季節限定のお料理やご当地縄文ビッグバーガーなど大人気です。

各種、ご宴会・パーティー・イベントなど団体ご予約の皆さまにはお弁当・松花堂などご予算に応じて承ります。また、ご予約頂ければ介護食もご準備致します。

お気軽にご相談ください。

お土産・地域特産コーナーもあります。

是非お立ち寄りください。



エビチリ定食も、とっても美味！

電話 0995-46-3600

第29回企画展「古代アクセサリーの魅力」



耳飾り（重要文化財）
（鹿児島県霧島市 上野原遺跡）
縄文時代（約7,500年前）

中でも、ここ上野原遺跡から出土した縄文時代早期（約7,500年前）の耳飾りは、平成21年度に九州国立博物館において開催された、『古代九州の国宝』展にも出品され、大きな話題となりました。今回は、常設展示室に展示されている耳飾りだけでなく、普段は見ることのできない出土品も展示されています。

また、佐賀県の二塚山遺跡のガラス製管玉や、魏志倭人伝（ぎしわじんでん）に登場する「末蘆国（まつろこく）」の王墓といわれる桜馬場遺跡の銅鏡（どうくしろ）などは必見です。

ぜひこの機会に、上野原縄文の森で、古代の人々のアクセサリーに対する思いを感じてみませんか。



貝輪（重要文化財）
（鹿児島県南種子町 広田遺跡）
弥生時代（約1,700年前）

皆さんはアクセサリーと聞いて、何を思い浮かべるでしょうか。ピアス？ブレスレット？ネックレス？現代の日本では、自分を表現する手段として、様々な種類のアクセサリーが用いられています。それでは、これらのアクセサリーは、一体いつ頃から使われるようになったのでしょうか？興味を湧いてきませんか？

平成22年12月4日（土）から平成23年3月21日（月）まで開催されているこの企画展では、ここ上野原遺跡を中心に、鹿児島県内の遺跡や、佐賀県の遺跡からの出土品を展示しています。古代の人々の美的センスに、きっと驚かれることでしょう。

縄文の森 冬の植物

●十一月七日に縄文の森で行われた「吟行句会」で詠まれた作品

冬道ゆきや縄文の子の
木の實独楽
丸山眞

産産箱の口の虚ろや
そぞろ寒
山下義照

晩秋にみられたムラサキキキョ
サザンカの花

冬の寒さも本格的になり、縄文の森はすっかり冬の景色になりました。特に、九五〇〇年前の森を再現した展示館側の落葉広葉樹の森は、ほとんどの木が葉を落とし、少し寂しい風景になりました。でも、体験エリア側の七五〇〇年前の照葉樹の森をよく探してみると小さいながらも彩りがみられます。南天やセンリョウの赤い実、サザンカやツバキの華やかなピンク色など。明るい色は生命にあふれた春の色を連想させ、冬には沈みがちになりがちな私達の気持ちを元気にしてくれます。小さな色を探しに縄文の森を訪れてみませんか。

冬は山の撮影にオススメの時期

上野原縄文の森は、海拔約250mの上野原台地上にあり、北には霧島連山、南には桜島が望める風光明媚な場所にあります。冬は空気が乾燥しているため、他の季節と比べるとモヤなどがかかりにくく、遠くの山を撮影するにはとても適した時期です。特に朝や夕方近くは、山の稜線が綺麗に撮影できます。

縄文の森でも晴れた日には、美しい山々を見ることができます。これからの時期は、冠雪した桜島などが撮影出来るかもしれません。写真撮影や絵のスケッチにいかがですか。復元集落や展示館屋上からも霧島連山がよく見えます。

特にオススメのスポットは、体験エリアの奥にある「展望の丘」です。霧島連山と桜島と一緒にみることができますよ。



森からやってきたお客様

昨年の秋から全国各地では、山からサルやイノシシが人里に降りてきた話題が多く聞かれましたが、縄文の森でも例外でなく、これまであまり見られなかったイノシシくん兄弟がひょっこり現れました。



イノシシくんです。

園内あちこちで、餌を探した掘り穴が見られると思います。朝夕に多く活動しているようですが、偶然出会うことがあるかもしれませんよ。



森の住人の野ウサギさん、今年の干支です。

もし、イノシシくんに出会ったら！

- ・むやみに近づかないでね。
- ・大きな声を出したり、おどかししたりしないでね。
- ・餌をあげないでね。
- ・後ろをすくふり返らず 目を合わせたまま、そーっと立ち去ってね。
- ・犬などを絶対に園内に連れてこないでね（イノシシが興奮してとっても危険だよ）

アートギャラリー紹介



11月18日～12月23日まで、展示館アートギャラリーでは、二見塾・ミルクウェイによる「感じて動いた絵手紙展」が開催されました。縄文や古代に関する絵手紙をはじめ、日常の中で心に留まった風景や出来事などを綴った素晴らしい作品が並びました。また、海の生き物をモチーフにした大型のパッチワークも展示されました。見学された方に、多くの感動をよんでいました。

上野原縄文の森4～12月までのイベント紹介

春・秋まつり



感想 国分中央高校のダンス部のダンスがとても良かったです。雨の中よくがんばっていました。

●五月に春まつり、十月に秋まつりが開催されました。多くのお客様が来場され、ステーション・オブ・マンズや縄文体験などを楽しんでいました。毎回大人気の火おこし大会では、多くの子どもが参加し、慣れない火おこしに一生懸命取り組み、汗を流していました。

1日縄文体験



感想 初めての参加でしたが、とても楽しかったです。ハム作りなどにも参加したいです。

●縄文の森で採れる素材を使って、体験活動を行っています。六月には草木染め、十一月はクワ・リス作りやどんぐり粉を入れたパウ・ムク人作りなどを行いました。参加者の皆さんは、思い思いの作品を楽しそうに作っていました。

考古学講座



感想 縄文時代の自然環境、当時の日本の様子が総合的に理解できた。

●上野原遺跡を中心に、南九州の縄文文化について解説する一般向けの講座です。縄文時代の様相やその当時の人びとの生活の様子について解説しました。十一月には、穴で実際に遺跡をめぐるとツアーも実施されとても好評でした。

縄文キャンプ村



感想 普通体験できない不自由な生活に子どもと一緒に参加させて頂き、大変有意義な時間が過ごせました。

●復元集落に実際に宿泊ができるイベントです。毎年大人気で、夏休み期間中に2回実施されました。両回ともお天気に恵まれ、参加者は連穴土坑などを使っての夕食作りやきだめし大火火まりなどを楽しみました。

縄文の森不思議探検



感想 石や化石を割るのがちょっと楽しかったです。(小5) 色々な葉っぱ、どんぐりを勉強した。(小3)

●子ども向けの新規講座です。県立博物館の学芸員を先生にお迎えし、園内のフィールドワークを行いながら、実際の岩石や植物を観察したり、また触れたりしながら、縄文の森の不思議を学びました。

十五夜まつり



感想 相撲大会は疲れたけど、とっても楽しかったです。来年は優勝できるようにがんばります。

●九月二十三日に縄文村の十五夜まつり、ロケットサウトが行われました。お天気が曇り、残念ながら月の観望はできませんでしたが、綱引、相撲大会と子供達の歓声を笑み声で大にぎわいでした。

企画展



第27回企画展 理科少年の考古学探検記 ～科学の目で見る考古学の世界～

◆理科好きの子どもたちを対象に、考古学の世界で科学理科的な見方や考え方がどのように役立っているのか解説しました。会場には分析機器であるマイクロコンピュータや赤外線カメラを設置し、自分で実際に操作が出来るようにしました。訪れた子どもたちは興味深そうに観察をしていました。



平成二十一年度（令和三年）に県立縄文文化財センターが発掘調査、報告書を作成した中から十四遺跡を取り上げ、「いちばん新しいかしまの昔」を紹介しました。県内初出土の銅戈（とうが）(下鴨遺跡)や、龍首水注(中郡遺跡群)など珍しい出土品も展示されました。

◆平成二十一年度（令和三年）に県立縄文文化財センターが発掘調査、報告書を作成した中から十四遺跡を取り上げ、「いちばん新しいかしまの昔」を紹介しました。県内初出土の銅戈（とうが）(下鴨遺跡)や、龍首水注(中郡遺跡群)など珍しい出土品も展示されました。